

Hayama Life
Saving Club

2011



みんなの海とみんなの笑顔のために。できること。



◆ はじめに ◆



「葉山ライフセービングクラブ」は、1986年、葉山の海水浴場でボランティアの水難救助をするために創られました。

クラブの目的は大きく2つ。

一つ目は、「**水辺の悲しい事故を防ぎ、尊い命を守る。**」

事故ゼロを目指しクラブ員ひとりひとりが、地元の海を知り、高いレスキュー技術を有する優れたライフセーバーたるべきことを目指し、練習をしています。

二つ目は、「**地元葉山でのライフセービング活動の普及と実践**」

地元の人たちが日常生活の中で、自分たちの海を安全に・綺麗に・楽しくしようと考えることが、ライフセービングの原点。

葉山の海に集うみんなの目がライフセーバーとしての目となれば、海はもっと安全で楽しいところになるはず。

相模湾の中でもひととき美しい葉山の海で、私たちとともにライフセービング活動の普及と実践に、ひとりでも多くの人が集ってもらえることを望んでいます。

◆ クラブメンバーの声 ◆



加藤 智美

代表／監視業務統括責任者

大震災によって大きな津波がたくさんの人の夢や生活を流してしまいました。

日本は島国！葉山は、海と山に囲まれた素敵な町です。海に関わる全ての方が気持ちよく、安全に過ごせるように私たちは活動します。

ライフセービングの経験は問いません。海が好きな人あつまれ！！私たちと一緒に活動しましょう。

瀬沼 健一 副代表



海という自然環境と事故未然防止という大きな壁にぶつかりながら、日々精進しています。東北地方の震災と同じく、一人では何もできません。あなたのちから、みんなのちからが必要です。

特に社会人の方は普段の社会経験がとても活かされます。まずは日々の息抜きやストレス発散のつもりで、一度葉山を訪れてみてください。

橋本 猛



社会人からはじめました。みなさんも葉山からはじめましょう。

雑村 洸宇



葉山は学生、社会人が分け隔てなく活動できる浜です。ライフセービング活動は学生の時だけで終わりではありません。

長くライフワークとして活動するためには、素晴らしい自然と人が必要です。その環境が整っています！一緒にアツイ夏を過ごしましょう！

◆ 2011 監視長 ◆

高橋 圭佑 (國學院大)



「何より大切なのはチームワークです。葉山のメンバー全員で素晴らしい夏を過ごしましょう。」

平岩竜之介 (國士館大)



「青い海、白い砂浜、そこに響き渡る楽しい声、すべてそろって葉山!!!安全で楽しい夏をサポートします♪」

岡 将行 (法政大)

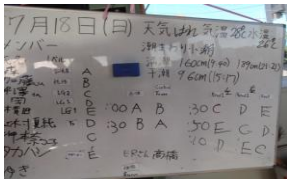


「キレイな海、かけがえのない仲間、色々な出会いが一生の思い出。最高の海は、葉山にある！」

◆ 監視活動 ◆

7月8日、葉山町海水浴場の監視活動を行っています。

葉山町には、森戸、一色、大浜長者ヶ崎の海水浴場があります。この3浜での監視活動はもちろん、海岸美化や保全活動など美しい自然やそこから生まれる様々な出会いも守ります。



異常なし。海での楽しいひと時を見守ります。



◆ 救急活動 ◆

救急器材として、レスキューボードを各浜に3本、砂浜の一番広い森戸海岸には専用の監視タワーも設置しています。また、AEDやバックボード、バックバルブマスクなど最新、最先端のものをそろえています。

ライフガードとER (Emergency Rescue 救急救命士) の連携を強くし、救急車到着までの一次救命を行っています。現役の消防員、救急救命士も監視活動に参加しており、より高度な救命技術の実践と習得ができます。



レスキューは初動が大切。



大切なものを守るために。



救命士の指示で適切な処置。

◆ 普及活動 ◆

海で遊ぶ時の注意などを砂浜、地元の小学校のプールで子供たちに教えています。



楽しいひとときのために。着衣泳や長く泳ぐコツなどを指導しています。



さまざまなイベントでレスキューのデモンストレーション、イベントのガードをしています。

◆ 葉山海洋スポーツ塾 ◆

地元葉山の“NPO 法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター”と協力して、小学高学年、中学生、高校生のライフセービング指導を行っています。

葉山スポーツ海洋塾は、通年プログラムとして月に2回活動しています。これによって将来のライフセーバーの育成、地域社会への貢献を目指します。



初めてのレスキューボードに感動！



ビーチフラッグ。位置に着いて！



応急処置についても指導をします。

◆ 地域活動 ◆

地元の方へライフセービング活動を理解してもらうために環境保全に努めたり、葉山町の催しなどに参加するなど様々な活動をしています。



葉山町の合同水難訓練に参加。町の人たちと協力体制を確立。



神輿に参加。血が騒ぐ！



台風の後。たくさんのゴミが流れついた海をみんなできれいに！！



葉山町の駅伝に出場しています。

◆ 体力・スキルトレーニング ◆

海水浴場開設期間中は各海岸でのトレーニング、オフシーズンは平日でも2名以上が集まれば練習会の開催、また毎週日曜日を公式練習とし、一色海岸監視所を拠点に海での練習や講師を招いての講習会を開催しています。



ボード練習、CPRなど一次救命処置の練習。



オフシーズンも夏に向けて、海や室内においてファーストエイドやシミュレーションもおこなっています。また都内でプール練習もしています。

◆ 合宿所 ◆

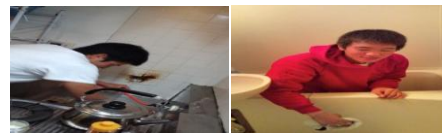
一色海岸近くに通年利用可能な冷暖房完備の合宿所を設置しています。夏のガード期間はもちろん、オフシーズンの練習期間やレベル向上のため強化合宿をする際の拠点としてなど仲間と家族のように合宿所を使っています。冬の練習のあとにはあたたかいシャワーを浴びることができます。



合宿所にて。



掃除もちゃんとしてますよ。



◆ マリンスポーツトレーニング ◆

葉山はさまざまなマリンスポーツのメッカ。プロのコーチ陣を迎え、色々なスポーツに挑戦します。色々なスポーツに挑戦することで公平な目で海岸の監視活動ができるよう心がけています。



美しい葉山の海でダイビングをしました。

◆ メンバー交流 ◆

大学生をはじめ専門学校生、会社員等さまざまな社会人のメンバーが所属し監視活動をしています。円滑なチームワークの形成のため交流をしています。



みんながちレース！優勝は社会人選抜!?チーム!!恐るべし。



新旧引継ぎ。楽しく飲んで。

チーム対抗球技大会。意外な一面が!!!。

Yes, Hayama!!! No, Rescue!!!

泳力、体力に自信がなくとも、自分にできるライフセービングがあるはず。何気ないことからはじめよう!



◆ 活動エリア・交通案内 ◆

神奈川県三浦郡葉山町の海を拠点に活動しています。
どこからでも、美しい富士が眺められる自然豊かな海です。

森戸海岸



葉山の中で一番広い砂浜の森戸海岸。
遠浅で波が穏やかなので、多くのファミリーが訪れます。
ウインドやヨットが盛んなことでも有名です。



一色海岸



山に囲まれた海岸は、プライベート感たっぷり。
御用邸のすぐ前に広がる美しい海岸です。
平成 13 年「日本の海水浴場88選」に選定



大浜・長者ヶ崎海岸



江ノ島、富士を眺める景色は、天下一品。
岩場も点在し、さまざまな生物との遭遇も楽しめます。
ダイヤモンド富士をみることもできます。



アクセス

JR横須賀線「逗子」駅 京浜急行線「新逗子」駅より京急バスでお越しください。

森戸海岸

逗子駅…3番 新逗子駅前…2番

“海岸回り”「葉山(逗12)」「葉山町福祉文化会館(逗11)」行きで「森戸海岸」下車

一色海岸

逗子駅…3番 新逗子駅前…2番

“海岸回り”「葉山(逗12)」「葉山町福祉文化会館(逗11)」行きで「一色海岸」下車

逗子駅前…2番 新逗子駅前…1番

“山手回り”「長井(逗6)」「大楠芦名口(逗4)」「葉山(逗2)」「横須賀市民病院(逗5)」
行き等で「葉山」下車

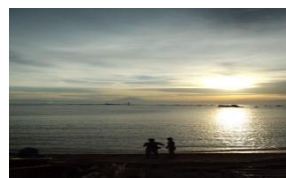
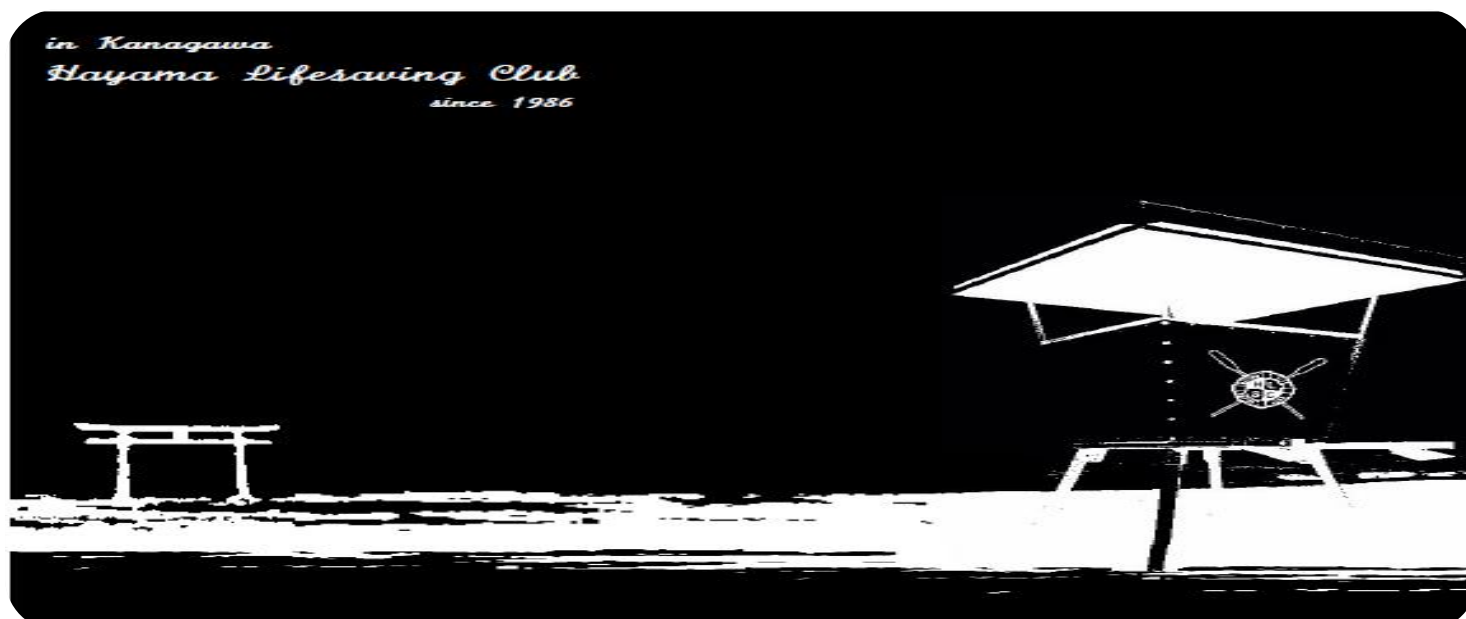
長者ヶ崎・大浜海岸

逗子駅前…2番 新逗子駅前…1番

“山手回り”「長井(逗6)」「大楠芦名口(逗4)」「葉山(逗2)」

「横須賀市民病院(逗5)」行き等で「長者ヶ崎」下車





葉山ライフセービングクラブ 公式ホームページ

<http://lifesaving.or.jp>

葉山ライフセービングクラブ 公式ブログ

www.ameblo.jp/hlsc1986/

クラブ情報等を随時更新しています。みなさんの参加をお待ちしています。

お問い合わせ

info@lifesaving.or.jp

2011. 4.